



【新交響楽団創立60周年 1956-2016】

アマチュアオーケストラ

新交響楽団第232回演奏会

The New Symphony Orchestra — 232nd Concert

指揮：湯浅 卓雄

YUASA Takuo, conductor

芥川也寸志 交響曲第1番

AKUTAGAWA Yasushi (1925-1989): Prima sinfonia (Symphony No. 1), 1955

エルガー 交響曲第2番 変ホ長調

Sir Edward ELGAR (1857-1934): Symphony No. 2 in E-flat major, Op. 63, 1911

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場 Design: IMAO Keisuke

2016年1月24日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Sunday, January 24, 2016, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席：¥3,000 A席：¥2,500 B席：¥1,500 (全席指定)

88 ペアチケット (お二人様で合計 88 歳以上のお客様は合計金額から 1,000 円を割引させていただきます。下記コンサートイマジンのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ：コンサートイマジン03 (3235) 3777 *10:00～18:00 (日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み：チケットぴあ：0570 (02) 9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス：0570 (010) 296 *10:00～19:00 (休館日を除く)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www.geigeki/i/t/> *0570 で始まる電話番号は一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください (予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

2016年は新交響楽団創立60周年

人間でいえば還暦、アマチュアオーケストラとしての可能性を模索し活動をまいりましたが、今一度振り返り新しい出発とすべく、創立60周年シリーズとして新響らしい企画で取り組んでいきます。

新響の前身となる東京労音アンサンブルが、当時すでに作曲家として世に知られていた芥川也寸志を招聘し、1956年に発足しました。芥川は、演奏のみならず運営にも深く関わり1989年に亡くなるまで新響を愛してくださいました。

芥川の力作「交響曲第1番」

今回の演奏会では創立60周年シリーズの第一弾として、芥川の交響曲第1番を、多くの日本人作品の録音で知られる湯浅卓雄の指揮で演奏します。

黛敏郎、團伊久磨とともに活動をしていた「三人の会」の第1回演奏会のために作曲されました。3楽章形式でしたが、その後ソヴィエトへ渡航しショスタコフヴィチやハチャトリアンなどの名だたる作曲家たちと交流して帰国後、第2楽章が加えられ4楽章からなる「交響曲第1番」として初演されたのが、ちょうど60年前のことです。第1番とつけられましたが、番号付きの交響曲はその後書かれませんでした。

芥川作品の特徴は、明るく快活で、わかりやすい和音と親しみやすいメロディです。この曲は少々重厚な曲想ではありますが、30歳の若いエネルギーに満ち、ソヴィエト音楽への憧憬が垣間見える愛すべき作品となっています。「交響管弦楽のための音楽」や「トリプティック」がコンサートの演目として頻りに演奏されるのに比べ出現機会が少ないのが残念ですが、芥川の代表作として未来に繋いでいきたいと考えています。

エルガーの「英雄交響曲」

そしてもう一曲は、湯浅が今も居を構え拠点にして活動してきたイギリスの、国民的作曲家エルガーの交響曲第2番です。エルガーは「威風堂々」や「愛の挨拶」などで有名です。

若きエルガーはドイツ・ライプツィヒへの留学を希望するも経済的に叶わず、イギリスで活動をする中で名声を得ました。出世作であるエニグマ変奏曲がドイツで演奏された際には、面前でR.シュトラウスに賞賛されたということです。

交響曲第2番は、当初イギリスの軍人ゴードン将軍の英雄伝を聞き着手された後、国王エドワード7世に献呈するために作られました。勇壮で変ホ長調であること、ナポレオンに献呈されたこと(後に撤回)など、ベートーヴェンの交響曲第3番「英雄」と類似しています。

作曲中に国王が崩御し表向きは追悼曲となりましたが、エルガーの自伝的な想いが込められています。この曲が出来たのはエルガー53歳の時でしたが、次の交響曲が未完に終わり、この第2番が最後の交響曲となりました。複雑でドラマティックなこの曲は、どことなくR.シュトラウスの「英雄の生涯」を思わせます。作品の中でエルガーがそれまでの人生を振り返ったように、新響もこれまでの60年を振り返り、新たな出発となるような演奏をしたいと考えています。

どうぞお楽しみに!(H.O.)

今後の演奏会予定

<第233回演奏会>~創立60周年シリーズ2~

2016年4月10日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 飯守泰次郎

ソプラノ 安井陽子 メゾ・ソプラノ 池田香織

合唱 栗友会合唱団

曲目 別宮貞雄/管弦楽のための二つの祈り

マーラー/交響曲第2番「復活」

<第234回演奏会>~創立60周年シリーズ3~

2016年7月10日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 矢崎彦太郎

曲目 ベルリオーズ/幻想交響曲 他

<第235回演奏会>~創立60周年シリーズ4~

2016年11月3日(木祝)14時 東京芸術劇場

指揮 山下一史

曲目 未定

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・故芥川也寸志の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコフヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(故山田一雄指揮、1979~90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(故石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ~良いお席を安く~

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座:00130-0-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail:shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、託児施設だっころームをご利用いただけます。利用日の1営業日前正午までにご予約ください。~1歳2,560円、2歳~6歳児2,160円。お申込み・お問合せ:小学館集英社プロダクション03-3981-7003(平日10:00~17:00、土・日・祝日休み)